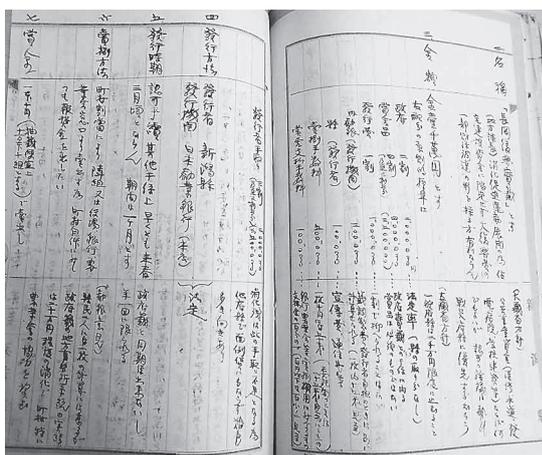


越後佐渡おもひる歴史ばなし

夢は一攫千金だけじゃない

昭和20年(1945)8月の空襲で長岡市は1万棟以上の家屋を焼失しましたが、財政難などでなかなか復興が進みませんでした。そこで、翌年秋の法令改正で従来国のみができた宝くじの発行を都道府県でも行えるようになったことを受け、新潟県でも県営宝くじを発行して長岡市の復興資金に充てることにしました。当館で保存されている県公文書から、初の県営宝くじ発行の様子を見てみましょう。



【昭和21年度 県会定例会関係12月雑 長岡復興富籤(宝籤) 発行打合記録】(請求番号 H92 総財 515)

昭和22年(1947)2月に、1枚10円(注)で売り出された「長岡復興宝籤」は、できるだけ当たりくじを多くしようと、1等1万円から5等5円までの賞金とは別に、賞品の当たりを抽選するという2本立て方式を採用しました。賞品には、1等桐箆筥、2等自転車、3等ラジオのほか、4等以下に革短靴、手拭い、石鹸と日常品を用意し、さらに、宝くじ販売時には、くじ1枚毎にマッチを1箱景品として付けるなどして、終戦直後の物資不足の時代、お金よりも物で人々の関心を集めていきます。

また、迅速な長岡市の復興のため、是が非でも宝くじを完売したかった県は、発行機関である銀行などと念入りに打ち合わせを行い、県内全市町村に売り捌き枚数の割当てを行ったほか、ポスターやチラシ、回覧板などで、全县民に宝くじの購入をお願い

—初の県営宝くじ発行記—

します。

知事名で出された隣組回覧板文書では、同じ労苦を共にしてきた同胞、県民が家や家財を失って苦勞



【昭和30年度 宝くじ関係書類(第1回～第5回)長岡復興宝籤チラシ】(請求番号 H93 総地 104)

していると窮状を述べたうえ、「一世帯四枚…これだけは何処の御家庭でも、是非ともお買い求めくださるようひとへにお願い致します。」と訴えました。

県の必死な訴えは県民の愛郷心に火を付けることとなり、賞品作戦と相俟って、新潟県初の県営宝くじは発行した150万枚を完売し、1500万円の売上げから賞金賞品代、政府納付金、発行費用を差し引いた収益金568万円を、長岡市の復興住宅の建設に充てることができました。

その後、宝くじの発行形態は県営から地方自治宝くじへと変わっていきますが、平成17年(2005)、前年に起きた中越大震災の復興のため、全国自治体の協力を受けた「新潟県中越大震災復興宝くじ」が発行されます。そして、収益金が再び長岡市などの復興のために役立てられることになります。

(注) 当時の物価：ビール6円、ラーメン20円、公務員平均給与540円 など

※新潟県立文書館 HP に掲載中

◆◆◆ ぶんしょかん 新潟県立文書館ってどんなところ?! ◆◆◆

もしかしたら新潟県立文書館の名前を初めて耳にする人もいるのではないのでしょうか。また、聞いたことはあるけど何をするとところか疑問に思われた方もいるのではないのでしょうか。

文書館とは、歴史的・文化的に重要な文書、地図、写真、映像などの記録史料を保存し、利用提供する機関のことをいいます。これらの記録資料を公共の財産として永久に保存し、広く一般に公開していくことを使命としています。

文書館という言葉は、英語のアーカイブズ (Archives) を和訳した言葉とされていますが、アーカイブズという場合、文書館の意味と、記録史料そのものの意味があります。日本の国及び地方自治体では、「ぶんしょかん」の他に「もんじょかん」「公文書館」「史料館」「記録資料館」…などさまざまな名称で呼ばれています。また、企業や大学の文書館も存在します。

◎みなさんが文書館でできること

- 1 新潟県の歴史に関する史料 (文書) を収集・保存しているのので、それらの文書を手にして見ることができる醍醐味があります。
- 2 新潟県の歴史や古文書に関する相談や史料の保存に関する相談を随時受け付けています。
- 3 文書を使った各種講座を開催して、多くの方々からご参加いただいています。どれも参加者の満足度の高い講座です。



歴史講座の様子



古文書初級解説講座の様子

◎各講座の感想を紹介します◎

- ・古文書はたいへんとつきにくいことが多いのですが、丁寧な解説で興味深く聞き入ることができました。(古文書解説講座)
- ・ていねいに受講者の間を巡っていただき、質問にも答えていただき感謝しております。(古文書初級解説講座)
- ・新しい研究の成果を平易な説明で拝聴でき、ありがたく思いました。(文書館歴史講座)
- ・今回の講座を機に、越後の鎌倉時代の歴史を勉強したいと思います。良い契機となりました。(文書館教養講座)

◎他にもこのような活動をしています

◆職場体験学習のサポート

中学校の職場体験学習をはじめ、大学生のキャリアインターンシップなどを受け入れています。



職場体験学習 (講座の受付の様子)

◆所蔵資料の展示

所蔵資料を、1階エントランスホールと閲覧室において展示しています。秋には特別企画展を開催しています。

◆歴史資料所在確認調査の実施

貴重な文書の散逸を防ぎ、保存の現状を確認し、活用に向けたアドバイスなどを行う調査は、平成4年の開館以来、県内各市町村教育委員会や市町村文化財保護審議会の協力で実施しています。

◆ホームページの活用

文書館のホームページをリニューアルしました。ホームページには、いくつかのコンテンツがあります。

おもなコンテンツは、所蔵資料の検索、「越後佐渡ヒストリア」、「インターネット古文書講座」、「越後佐渡デジタルライブラリー」です。便利で楽しいコンテンツがたくさんあります。ぜひ一度、検索してみてください。

新潟県立文書館

検索



文書館小辞典

～知識編～

Q：明治時代になっても、江戸時代の通貨単位「両」は使われていたのですか？

A：明治時代の古文書を見ていくと、「預り申金子証文之事 一、四百両也…」と書かれた借金証文などを見かけることがあります。

現在使用されている日本の通貨「円」は、明治新政府が明治4年（1871）5月に新貨条例を公布し、新しい通貨単位を「円・銭・厘」に決定したことで始まります。新貨幣の鑄造開始とともに始まった江戸時代の貨幣と新貨幣との引換えは、明治22年（1888）12月の交換廃止まで続きました。つまり、明治時代になってもしばらくは「円」でも「両」でも取引が行われていたのです。

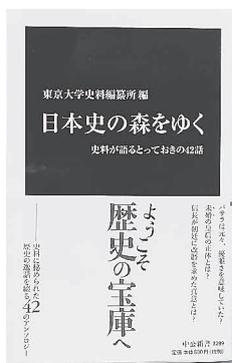
～保存編～

Q：文書類をどのような場所に保管するとよいですか？

A：文書類を長く大切に保存するには、温湿度対策が重要になります。床の近くは温湿度変化が大きいので、低い位置に置かない工夫が必要です。床近くに置かなければならないときは、すのこなどを敷いて風の通り道を確保するとよいでしょう。また、古文書を傷つけるカビやダニは、埃のたまった湿度の高い場所を好みます。定期的に保管場所の掃除を心掛けましょう。

紫外線（日光）も古文書にとって大敵です。窓から離れた場所に置くか、カーテンを利用するなどして、紫外線から古文書を守ってあげましょう。

文書館の本棚



『日本史の森をゆく
史料が語るとって
おきの42話』
(東京大学史料編纂
所／編 中公新書
2014年12月初版)

「歴史は史料によって創られる」と、本書の帯には書かれています。本書に綴られた42の話は、東京大学史料編纂所の42名の先生がそれぞれの専門分野の史料をもとに古代から幕末までの歴史を語ったものです。

東京大学史料編纂所は、古代から明治維新期に至る前近代の日本史史料に関する研究所です。国内外に所在する各種史料の収集と分析を行い、これらを史料集として編纂・公開する研究事業を通じて、広く日本史研究に寄与することを目的として設立されました。現在では、荘園絵図や古写真など多様な画

像史料にも研究対象を拡大しています。

この編纂所で様々な史料と出会い向き合っている職員が選んだ珠玉の歴史話が本書に綴られているのです。

例えば大友宗麟の「国崩し」（と思われる大砲）がロシアの軍事博物館に収められている話や、未婚の皇后がいた話など少し不思議に思える興味深い話が紹介されたり、史料を読み解いて従来考えられていた学説に新たな解釈を提示している話など、教科書で学ぶ日本史では語られない魅力的な日本史が展開されています。

歴史は、現在語られているものが全てではありません。通説とされている歴史も、研究者が史料をもとに検証を積み重ねて創られてきたのです。新たな史料の発見と検証によって、歴史は書き換えられていくものです。逆に言えば、史料がなければ、歴史として語られることは難しくなるでしょう。様々な史料があるからこそ、数多くの歴史場面を語る事ができるのです。本書で資料を読み解く醍醐味を時代にかかわらず味わえます。 【田宮記】

平成29年度 文書館主催講座

◆今年度の主催講座をご案内します。

○古文書講座

時間はすべて13:30～15:30

受講無料(但し資料代100円が必要)

講座名	日程	時間	定員	申込開始日	会場
はじめての古文書講座(春季)	5/17(水)・5/24(水)・5/31(水)	120分	15名	4/18(火)	共同研修室1・2
はじめての古文書講座(冬季)	11/29(水)・12/6(水)・12/13(水)	120分	15名	11/1(水)	共同研修室1・2
古文書初級解説講座(夏季)	Aコース 6/27(火)・7/4(火)	120分	各60名	各コースとも 5/24(水)	大研修室 ※A・Bともに 同内容
	Bコース 6/29(木)・7/6(木)				
古文書初級解説講座(冬季)	Aコース 1/17(水)・1/24(水)	120分	各60名	各コースとも 12/5(火)	大研修室 ※A・Bともに 同内容
	Bコース 1/19(金)・1/26(金)				
古文書解説講座(夏季)	7/26(水)・8/2(水)	120分	180名	6/20(火)	ホール
古文書解説講座(冬季)	2/7(水)・2/14(水)	120分	180名	1/5(金)	ホール

○「新潟県の歴史」講座

時間はすべて13:30～15:30

受講無料

講座回	日程	時間	定員	申込開始日	会場
第1回	7/1(土)	120分	180名	5/31(水)	ホール
第2回	11/25(土)	120分	180名	10/17(火)	ホール
第3回	3/10(土)	120分	180名	2/1(木)	ホール

時間はすべて13:30～15:00

受講無料

講座回	日程	時間	定員	申込開始日	会場
第1回	6/7(水)	90分	180名	4/28(金)	ホール
第2回	8/9(水)	90分	180名	6/29(木)	ホール
第3回	9/6(水)	90分	180名	8/2(水)	ホール
第4回	9/27(水)	90分	180名	8/22(火)	ホール
第5回	10/18(水)	90分	180名	9/6(水)	ホール
第6回	11/15(水)	90分	180名	10/10(火)	ホール

○特別企画展解説講座

時間はすべて13:30～14:30

受講無料

講座コース	日程	時間	定員	申込開始日	会場
Aコース	11/2(木)	60分	60名	10/3(火)	大研修室 ※A・Bともに 同内容
Bコース	11/9(木)	60分	60名		

アーキビスト 文書館職員随想

▼「歴史」とは、資料(過去の文字記録)をもとに解釈・理解した上で説明・叙述したものを意味するものだとすれば、文書館は、新潟の歴史のもとになる資料(公文書・古文書)を整理・保存する役割を担っています。▼「シュタージ文書」。旧東ドイツの独裁体制を支えた秘密警察シュタージ(Stasi)で作成された機密文書です。独裁体制の犯した罪を証明する多くの証拠が含まれているとされるこの文書は、1989年のベルリンの壁崩壊直後、職員によって抹消・隠滅のためシュレッダーにかけられましたが、現在の連邦政府により保管され修復・復元作業がなされています。東ドイツの歴史の一部となる記録が後世に残されたのです。もし、シュタージ文書がそのまま焼却されていれば、ドイツの歴史にシュタージ文書は存在しなかったことになっていただいでしょう。▼資料がなければ歴史とはいえません。だからといって、すべてを残せばよいというわけにもいきません。歴史資料としての選別には偏りがなく、そして慎重でなけれ

ばなりません。▼文書館に集まってくる公文書や古文書は、現在にいたる新潟のすがたを形作ってきた記録です。文書館の業務の第一は資料の整理・保存です。それは、「歴史」を作る作業の「第一歩」といってもいいでしょう。▼書庫に入り、棚に並ぶ資料を目の前にいつも思いうかべることがあります。将来、文書館に保存されている資料を利用する人が、「なぜ残されていないのだ」ではなく、「よくぞ残しておいてくれた」と言っている光景です。もちろん、50年、100年、もしくはそれ以上先の光景です。【加納記】

編集・発行 **新潟県立文書館**

〒950-8602 新潟市中央区女池南3-1-2

TEL.025-284-6011 FAX.025-284-8737

URL. http://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/?page_id=569

E-mail. archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp